

## 八幡浜市学校再編整備検討委員会 議事要旨

(第6回会議) 【公開用】

日時：平成28年11月24日(木) 19:00～20:35

場所：保内庁舎3階 第3会議室

欠席委員：鈴木委員

事務局：教育長、教育指導主幹、学校教育課長、同補佐

### ○会議次第

1. 開 会
2. 議 事
  - (1) 学校再編に係る具体的な方策について
  - (2) 次回会議の日程及び議題について
3. 閉 会

### ◎会議概要

#### ○開会(19時00分)

#### ○議事

(委員長)

- ・ 本日の会議録の署名人を脇水委員と宇都宮委員にお願いする。

#### (1) 学校再編に係る具体的な方策について

(事務局からの説明)

- ・ 学校再編の具体的な方策の考え方について、「小学校及び中学校の児童生徒数推計」(資料6-1)、「学校規模及び学校配置に関する視点に立った再編の具体的な方策の考え方」(資料6-2)に基づいて説明。

[各委員が、以下のことについて現状を確認し、検討した。]

- I 複式学級を有する学校(川上小、双岩小、真穴小)について
- II 平成28年度現在、検討委員会の望ましい規模に満たない学校(松蔭小、江戸岡小、日土小、川之石小、愛宕中、松柏中、真穴中)について
- III 平成34年度時点で検討委員会の望ましい規模に満たなくなる学校(千丈小、八代中)について

<今後の方向性>

- ・ 中学校3校、小学校9校をベースに協議を重ねる。(名坂より北が中学校1校、小学校4校、南が中学校2校、小学校5校)

(2) 次回会議の日程及び議題について

- ・ 次回は、具体的な学校再編について引き続き協議する。
- ・ 次回、第7回会議を1月17日(火)保内庁舎第3会議室で行うことを決定する。

○閉会(20時35分)

□ 委員発言(同種の発言はひとつに要約しています)

(1) 学校再編に係る具体的な方策について

- ・ 複式になるというのは教員数が決められているから、複式にしないといけないということだろうか。  
→ 児童生徒数により、複式学級が決められる。
- ・ 例外はないのか。例えば、学校や教育委員会が要望しても複式学級となることは避けられないのか。  
→ 法的には無理である。
- ・ 複式学級は子どもたちのための教育環境として好ましくないと思う。複式学級を有する学校や近い将来複式学級になると見込まれる学校は、統合を早めに進めていくべきではないだろうか。
- ・ 再編の具体的な方策を考える上で、今後検討する学校についても、なるべく早いうちに話合いや具体的な提案はしていくべきだと思う。
- ・ 愛宕・松柏・八代中は、平成39年度にはかなり生徒数が減ることが推測されるため、現状維持も考えられるが、10年後を見据えて検討していかねばならないと思う。  
直近のことばかりに目を向けるだけでなく、通学区域の見直しも含めて考える必要があるため、皆が同じビジョンを持って考えていくべきだと思う。
- ・ 前回の学校再編整備計画の中で、真穴中が統合の前期計画に入っているが、現地説明はしているものの今も継続協議となっている現状もある。委員の皆さんは、ここで意見を出しても実際の説明会では差し戻しになってしまう可能性もあるため、考えがまとまりにくく、難しいと感じているのではないか。
- ・ どこと統合しても通学距離が4km以上になってしまう小学校については、バス等での通学支援をするのであれば統合校は隣接の小学校に限らなくてもいいという考え方もあり

得る。

→ 通学方法や統合先の学校については、保護者や関係者とも協議しながら決定することになると思う。

- もともと複式学級を有する学校のデメリットを念頭に、子どもたちの教育環境について考えているが、複式学級の方がいい面があるのでは、と考えもする。しっかりとした科学的根拠があれば、複式学級のデメリットについて説得力があるが、それが無い中で検討しないといけないのが難しい。最終的には、該当校の保護者等の話を聞くことができれば、判断しやすいと思う。

→ 学習面では、複式学級が駄目ということはないと思う。ただ、集団生活の中で自分を高めていることを考えると、同性の友達がほとんどいない、同級生が数名しかいない集団の中で育っていくことは、決して望ましい教育環境とはいえないのではないかな。

- まず、学校規模に関する視点で考えた結論を出し、それからその他のことを考えるべきではないだろうか。
- 仮に松蔭小と江戸岡小が統合するとした場合、松蔭小の校舎を使用するのと江戸岡小の校舎を使用するのでは、影響、問題点の違いはあるのだろうか。

江戸岡小の校舎を使用する場合、教室数が不足すると聞いた。たしかに敷地はさほど広くない。不足分は増築しないとイケなくなるのか。

松蔭小の校舎を使用する場合、東校舎を利用できるのだろうか。

→ 松蔭小の東校舎は木造で、特別教室と児童クラブとして使用している。木造のため、耐震検査はしていない。現在も教室数の余裕は若干あり、東校舎を建て替えて教室数を増やすことは十分可能である。

- 松蔭小と江戸岡小のことを考える場合は、まず中学校のことを考えてからでないとイケない。江戸岡小は中学校に進級する際、3校に分かれている現状を考えても、中学校区がある程度決まってから校区を含めた小学校の見直しを考えるべきだと思う。単純な統合は考えにくい。
- まず、中学校の最終的な学校数を協議し、決定しないと小学校については考えにくい。
- 千丈小は、この数年で2校が統合しているため、残すべきだと思う。
- 白浜小、神山小、千丈小は、学校規模で考えると5年先の児童数推計を見ても維持できると思う。江戸岡小と松蔭小を比べたら、松蔭小を利用することを考える方が考えやすいと思う。
- P T Aからは、具体的な提案はしづらい。

- ・ 先日開催された市政懇談会において、市長から江戸岡小のことについて話があった。市長は、江戸岡小を社会福祉関係の複合施設として利用したい希望があるようだ。

上記のとおり八幡浜市学校再編整備検討委員会（第6回）の議事経過及びその結果を明確にするためにこの議事要旨を作成し、出席者2人が署名する。

平成28年11月24日

署名人

署名人